

校長室
だより

おみっ子通信

思い合いの心で みんなが笑顔！

令和7年9月26日

麻績小学校

No. 7



文責：尾台

自らコントロールしていく力に

「見て!」…虫かごを手にした子どもたちが披露してくれるものが、トンボやカブトムシから、土の中に眠る幼虫や、動きの鈍くなってきたカエルに変わってきました。ここ数日は、今までランニングシャツで走り回っていた子どもたちが長袖を着始め、季節の移り変わりを感じます。

家で過ごすことが多くなる時期を前に、児童会では、テレビやネット、ゲーム等との付き合い方を、自分たちで考えたミッションを守ることを通して見直す「メディア見直し週間」を計画し、実施していました。画面の見過ぎによる視力の低下や脳への影響が懸念されている今、自ら危機感を持ち、メディアとの付き合い方をコントロールしていく力をつけていくきっかけとしたいところです。

9月の麻績小ダイジェスト



＜お米作り＞ 毎朝裸足になって、草取りを一生懸命続けてきた5年生のお米作りは、黄金色に実った稲穂を10日に刈り、24日には脱穀をしました。「自分たちで育てる」という貴重な体験を経て、5年生のチームワークもさらに上がったようです。温かく見守り、支えてくださった OMIMO の久保田さん、JA の宮入さんはじめ地域の方々、お家の方々にも感謝です。



＜地域に学ぶ＞ 聖太鼓のかっこいい演奏に出会い、チャレンジ中の3年生。「おみむらおうえんだいこ」を結成し、地域の太鼓の先生に教えてもらいながら、日々練習を重ねています。10月12日、村の収穫祭で初披露の予定です。



＜やってみよう！＞ 「みんなで流しそうめんをやりたい」という願いに向け、自分たちで竹を削り、そうめんが流れるか実験を重ねてきた6年生。5日に実現することができ、満面の笑みを浮かべていました。



＜秋の遠足＞ 1年生は、筑北村のやすらぎスポーツ広場に、2年生は公共の乗り物を使って長野市の茶臼山動物公園に行ってきました。ちょうどよい気候の中、お互い声をかけ合いながら、多くのことを発見してきたようで、「楽しかった!」と、笑顔で帰校していました。



＜止まる・見る・待つ＞ 17日に行った秋の交通安全教室では、交通安全教育支援センターのご協力で、実際の車の動きを見ながら「死角」「内輪差」について確認しました。教えていただいたことを意識しながら、大事な命を守っていきたいところです。

＜叙述に着目して＞ 4年生は、国語の教材「一つの花」「ごんぎつね」を通して「話し合う力」をつけています。みんなで考えたいことに向かい、叙述に着目しながら「ぼくもそう思った」「私は、こう思うけど」と、登場人物に心を寄せていく姿…毎回、熱気があります。

番外編 麻績の子どもニュース



＜おみつこミュージックフェスティバルに向けて＞ 全校音楽では、オープニング曲「夢の世界を」を練習中。「一人で歌ってみたい人」「ハイ!」「ハイ!」…一人でも体育館いっぱいに響く柔らかな歌声を披露できる子どもたちがたくさんいて、みんなでうっとりしながら拍手をしました。

9月7日から1週間、4～6年生16名の子どもたちが、家を離れて寝食をともにする教育委員会主催の「通学合宿」にチャレンジしました。信大の「YOU 遊未来」の皆さんに支えてもらいながら、お互い助け合って過ごした1週間。終わってしまうことが淋しくなるほど充実し、貴重な経験となったようです。